

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 365

事務事業名	林道維持管理事業	
基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040105	魅力ある農林水産業の振興
施策		林業の振興
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農林整備課		
課長名	松崎 文彦	内線	267
担当者名	山口 力也	内線	254

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画	大村市森林整備計画	
重点事業		

会計	一般		
款	6	農林水産業費	
項	2	林業費	
目	2	林業振興費	
事業コード	050000	林道維持管理事業	

【PLAN(計画)】

対象(者)	林道		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図 対象をどのような状態にしたいか	森林整備の基盤となる林道を良好に維持管理することにより、水源かん養、山地災害防止、二酸化炭素吸収等の森林の公益的機能の高度発揮及び林業の振興を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	林道の草払い、側溝浚渫・側溝補修等を行い適正に管理する。 草払い延長L=13,155m 側溝改修及び路面改修L=95m		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 草刈り延長	計画値	12,837	12,837	12,837	13,155	
		実績値	12,837	12,837	12,837		
	(実施延長/計画延長)×100		達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
	②	計画値					
実績値							
成果指標	① 苦情件数	計画値					
		実績値	0	2	1		
			達成度				
	②	計画値					
実績値							
		達成度					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	11,253	6,122	5,881	2,811	3,384	3,384	3,384	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	11,253	6,122	5,881	2,811	3,384	3,384	3,384	
② 人件費(千円)	998	947	1,077	1,058	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.12	0.12	0.14	0.14	林道の草刈り、側溝浚渫及び舗装等を行う。	林道の草刈り、側溝浚渫及び舗装等を行う。	林道の草刈り、側溝浚渫及び舗装等を行う。	
時間外勤務(時間)	22	20	45	20				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	12,251	7,069	6,958	3,869				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	H28年度は、従来維持管理している林道に加え広域基幹林道多良岳横断線の草刈りや側溝浚渫等を行う。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	今後も、林道を適正に維持・管理するため草刈り、側溝浚渫等を引き続き継続する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。